

## 野洲市議会出前懇談会報告書

開催日時	令和8年2月9日（月） 午後3時30分～5時
開催場所	コミュニティセンターきたの 2階研修室
団体等の名称	野洲市商工会
代表者 住所・氏名	会長 木村 靖 野洲市西河原2400番地
懇談内容	テーマ「魅力ある野洲市を目指してⅡ」 懇談会趣旨・商工会の役割を説明の後、野洲駅前南口周辺の活用を中心に、意見交換を行った。
参加人数	商工会 理事10人・事務局2人、市議会議員11人・議会事務局2人
出席議員	委員長 田中陽介、副委員長 遠藤総一郎、木下伸一、工藤義明、田中遼、永島知香、益川教智、山岡卓治、山本剛、橋完司、奥山文市郎（議会改革推進特別委員会委員と一期目議員、副議長の計11人）
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工会会長…商工会には建議という役割があるということを議会、商工会員の双方が理解する必要がある、新人議員の方も入られたので再度の確認をしたい。また、市長が打ち出した「エンタメアリーナ」について商工会にてアンケートを行ったので、これについても話したい。</li> <li>・ 田中委員長…今回、新しい議員が増えたということで、商工会の理念の再確認と、野洲駅南口の活用を中心に、また商工業の発展についての有意義な時間になることを期待している。市議会としても、ただ聞くだけではなくて、今後の議会での審議に反映しなければ意味がなく、皆さんの意見を十分聞かせていただいて、建議から議会での協議というところへつなげていきたい。</li> <li>・ 会長…IBMがあったころはよかった。野洲は失われた40年。</li> <li>・ 商工会事務局…（資料1にて商工会法、理念の説明） 私どもは当然、商工業者の相談もするが、商工会議所と同じように、自分たちの意見を公表し、国会、行政庁等にも具申して、また建議するというような目的も持っている。（資料2にて商工費の説明）</li> <li>・ 田中遼議員…1人当たりの商工費が多いところに、共通点はあるのか。</li> <li>・ 会長…観光も、商工業も投資がないと経済は生まれてこない。大きなまちだからではなく、まちの危機感を持ったところほど投資が大きいと考える。</li> </ul>

・ **田中遼議員**…我々が市民の方に説明するときに、分かりやすい未来というのを提示できないといけない。1人当たりの商工費を見ると、一番多いところと10万円の差がついている。裏を返せば、市民の方に10倍金をかけたらこういうふうになりますよというふうな未来を示したいと思う。甲賀市や日野町の成功例を、会長が知っておられる範囲で知りたい。

・ **会長**…甲賀市はものすごい発信力。例えば、忍者とか信楽焼、いろんな活動をされている。全国から集客を凶るということで必死。日野町においても、商売人のまちということで、そこまでやるかというくらい地域資源を活用している。

・ **工藤議員**…商工会に加入している団体数がどれぐらいあるのか、その規模、事業者の数がどの程度あるのか。また、3倍人員が必要というのは商工会の職員のことか。

・ **会長**…商工会の職員ではなく、地域経済振興課のスタッフが少な過ぎるということ。

・ **商工会事務局**…野洲市の商工業者数というのは、現在、1,345事業者。本日時点では809の会員。

・ **会長**…加入率は55.7%。これは全県下でも非常に優秀な地域。経済団体としては最も大きな野洲市の団体。

・ **田中陽介議員**…予算を取っていこうと思うと、市の協力、地域経済振興課等と商工会等、官民が一緒になって事業をつくっていく必要がある。現状、市の予算が少ない理由として、担当課と合意ができていないのか、合意ができて、予算を上げているんだけど、財政面で落とされているのか、段階的にはどの段階なのか。

・ **会長**…まず、密接な関係が保たれていない。予算要求は9月頃から行われるが協議がない。9月頃か来年当初から膝を突き合わせた話をずっとやっていかないといけない。要望を出しても行財政改革をやっているから予算がつかない、財政でカットされる。結果だけは報告いただくということになっている。最近、よかったのはイルミネーション。これまさに官民一体となってできた。行政も一緒に汗を流していただくということでまちというのは変わってくると思う。

・ **商工会事務局**…（アリーナ構想アンケート解説）

・ **会長**…最初にアリーナ構想を聞いたときに、これは経済の核になる。あらゆるものがこれによって波及効果、実にすばらしい。ただし、これは民設民営

が絶対条件。これができれば本当に魅力のあるまちになるのはこれもう間違いない。このアンケートを見られて感じ取ったことをご意見いただければありがたいと思っている。

・**田中遼議員**…AブロックをアリーナとEブロックをアリーナ、商工会さんとしてはどちらを優先してほしいのか知っておきたい。

・**会長**…Aブロックは、今のところアリーナは考えていない。なぜかと言うと、核になるアリーナができると、おのずとAブロックの用途は限られてくる。連携イベント、地元が使うイベント、常に使えてアリーナのお客さんがそこで、例えば飲食をするなど、Aブロックの広場も絶対必要。また、それに付随する商業ビル、シティホテルもこの後建ち、オフィスビルもあわせて、皆求めている。

・**田中遼議員**…現実的なビジネスを考えたときに、アリーナの位置など、他の部分でも広報やすのイメージイラストをプロの視点から見てどうか。

・**会長**…このイラストを見ると、あまりにも誇張している部分がいっぱいある。相談も何もしなしに出されて、なぜABC、いや、123になるんやと、これ思った。だから、これにはビジネスチャンスと訴えるものが物すごく少ない。ただ、エンタメアリーナに関してはスピード感をもって逃してはならない絶好のビジネスチャンスだと思っている。新人議員のみなさんはどう考えるか。

・**山岡議員**…市民の皆さんに今知っていただき、議論するのは、もう少しアリーナ構想について詰めていく必要があると感じている。

・**遠藤議員**…これからは責任ある積極財政ということで、野洲市もそのフレーズと思っているので、それが答えである。南口をテーマでアリーナができれば一番いい。夢がある。しかし企業が資金回収する部分がアリーナ以外にもないと厳しいのではないかと思う。

それから、駅前の都市計画、にぎわいと地域の課題は、この際、100年の計として、一遍に解決しなければならない。にぎわいづくり、アリーナができればいいが、芝生広場では中核施設にはならない。駅前はまだけさせてもらわなければならない。それから、平日のにぎわいをどう創出するかということで、企業の集積、そこをどういようにお金にしていくかというのは、絵に描いているときに必要。それと渋滞。タコツボロータリーをループにする。これも今しかできない公共側のインフラ整備の責任。

・**永島議員**…アリーナについて、まだまだアリーナの内容、どうするとか、そういうものが一切示されておらず、説明を聞いていない状態なので、アリーナに賛成とか反対とか、そういうのはないが、Bリーグが民営であればできたら

いいなどは思っている。そのために、道の整備も、うまくできて、アリーナも企業さんが見つかって建つてという、もうけられたらいいかなと、私も思う。

・橋議員…今、南口の開発でアリーナ構想が出てきている。やはりインフラ整備、これはまずやる。そのうえで、社会実験の中で、考えていきたい。アリーナ構想については、非常に期待しており、一緒になって頑張っていきたい。

・益川議員…駅前に関しては、今、3つの構想があって、今の道路の改修とアリーナと、企業のオフィスと小劇場の新設ということがあるが、にぎわいを生み出すという意味では後ろの2つのどちらかと思っている。ただ、まだ構想の段階で、事業費なども全く見えていないので、今後、それらが明らかになった上で、僕たちも市民の意見を聞きながら判断していくことになる。

平日のにぎわいに関しては市民がどのように使えるか。例えば、アリーナにするのであれば、多目的に使えるようにして、普段でも市民、例えばお子さん連れや、ご高齢の方が気軽に通えるような施設に。これに関しても、市民の意見を聞いて、一つひとつの課題を潰していきながら、この市の発展につながるようなものができればと思っているし、それがアリーナであれば、私も全力でそれを支援していきたいと思う。

今回、今日は商工会の皆さんとの協議ということでお話をさせていただいたが、このアリーナ構想については商工会として全面的に推したいという認識で私たちは受け取ってもいいのか。

・会長…はい。

・会長…インフラだという問題が出てきたが、妓王井川の改修というのは、緊急工事がなされただけ。それで終わってはいけない。私も常々、県議員にも言っている、皆に言うのは、河川改修は明治の時代から行われてないのは野洲だけ。草津川、守山川、近江八幡、白鳥川、河川改修が行われるから町の発展がある。駅前のロータリーも、アンダー、オーバーなかったら、駅は機能しない、タコつぼはそのとおり。まず河川改修が大切。

・田中遼議員…野洲駅の北口にパチンコ屋が放置状態であるが商工会としてはどう見ているのか。

・会長…関与できない状況になっている。北口もゲートを造ったら、直射日光も浴びない、嵐のときも風雨にさらされない、そういうのができるといい。官も民も県も全部投資して1つのインフラをつくる必要がある。そういう提案もするのは商工会の仕事。なので杓子定規に年末年始の挨拶行って、それではいけない。将来は気楽に議員と会員と交流を深めて、何を考えているのか、お互いにこう言い合える環境が大事だと思う。

やはり、まちづくり、商工会の使命はまちづくり。まちづくりこそが経済の活性化になる。人がいたらにぎわいのように思われるが、にぎわいイコール経

済活動。経済活動がないといけない。

・北中副会長…冒頭、商工会の役割についてお話しさせていただいて、また、現状についても皆さんと共有できたのは大変うれしく思う。冒頭、田中委員長からも我々が具申して、また建議することをしっかりとまた協議をしていただくというお話をいただいて大変心強く思っているし、まだまだ商工会としてもやっていかなければいけないことはたくさんあると感じた。

また、アリーナに関しても、実際にまだまだ情報の共有も足りず、当然、情報も少ないというのがまだまだ課題だと感じた。また、そこを共有しながら、魅力ある野洲市に一步でも近づければと思う。

本日は、本当は1回目は意外と色々な議論をさせていただいて、今回はあまり会員が皆さんとお話する時間が少なかったという反省点がある。理事もいろいろ今日に向けて意見をまとめてきたが、いろいろと時間の制限があった。また、次回にともに議論をして、よくなる野洲市に一步でも進んでいきたいと思うので、引き続き、商工会へのご理解、ご協力をお願い申し上げる。

・杉田副会長…本日は市議会議員の皆様と「～魅力ある野洲市を目指してⅡ～」について懇談ができ、貴重な時間、大変ありがとうございました。野洲市は今後も課題は多いと思いつながらも、実は、県内では住みやすさランキングが高いという、この弱点であり強みである魅力をどう引き立てるかという我々の役目だと思うので、そういった話が今後も一緒にできるように、また、次回開催、ぜひご参加いただきたいと思う。

※商工会からは、今後は会員がもっと発言できるような設えにしないといけないという課題を含め、テーマを定めてまた開催いただきたいとの打診もあり、これを引継ぎとする。